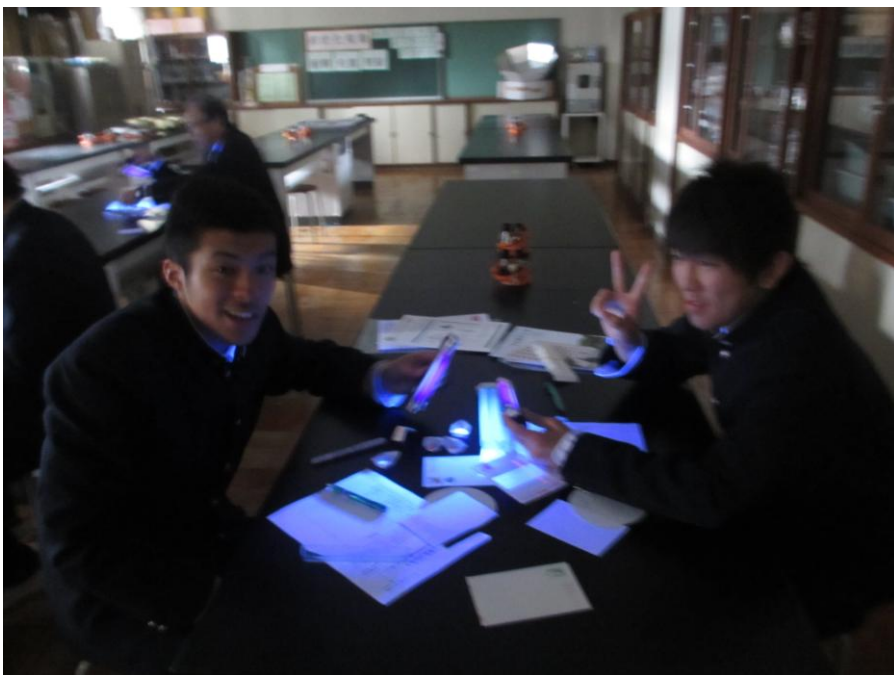
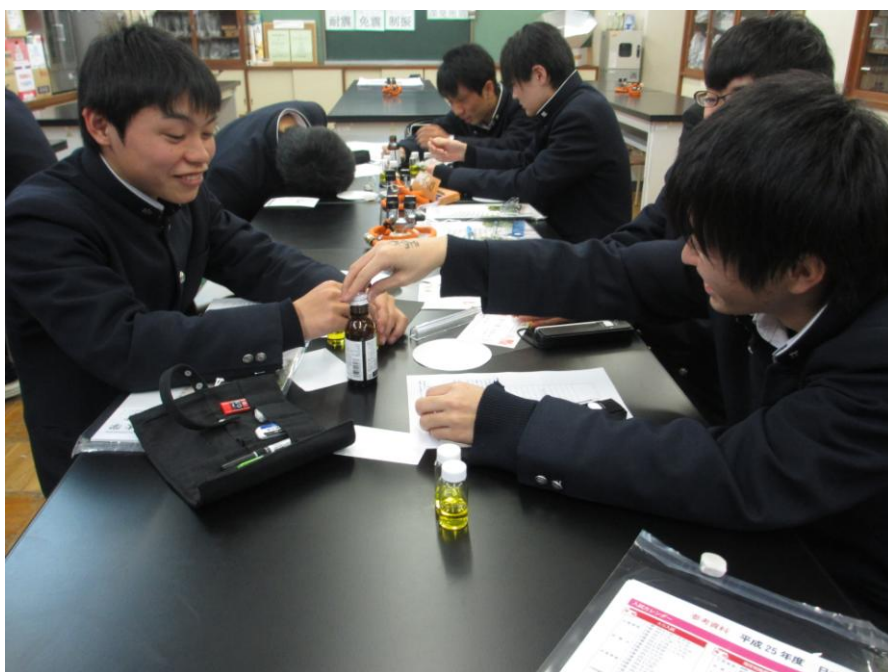


2 学年理系選択生徒を対象に、大学の出前授業が行われました。お招きしたのは日本薬科大学の荒井健介先生。「蛍光のひみつ」というテーマで、蛍光灯や蛍光ペンのしくみ、蛍光がどのような分野で利用されているかを学習しました。

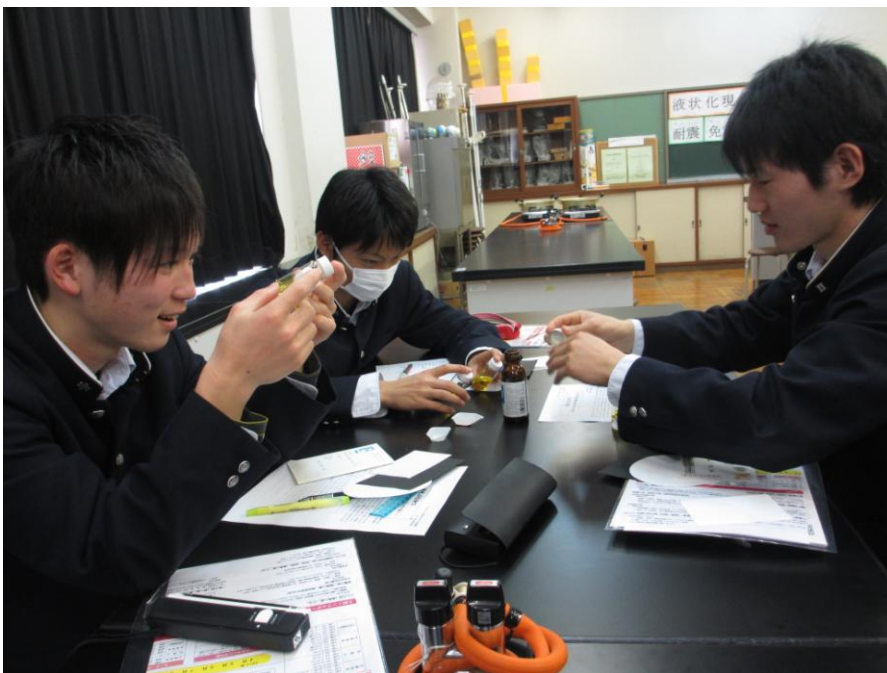


いろいろなものに紫外線を当ててみました。蛍光灯、はがき、シャツ、入浴剤、洗剤など。パスポートに紫外線を当てると・・・驚きました。顔写真の横に、もうひとつの写真が鮮明に浮かび上がってきました。偽造防止にも蛍光が使われています。





薬学という分野の役割のひとつに「測る」というのがある、と荒井先生。薬品の種類を見分けたり、検出したり、最先端の遺伝子研究でも蛍光が使われているとのこと。講義には皆身を乗り出して、興味深く聞いていました。



今回も、教科書や普通の授業では学ぶことができない教養を身につけることができました。遠方よりお越しいただいた荒井先生にはこの場を借りて御礼申し上げます。そして、受験生となった2年生に残された1年間の成功を祈念しています。頑張ってください！